

デザイン・ツー・コストの実施の投資効果

デザイン。ツー・コストの実施による投資効果は量産をする場合、32倍以上、とされている。
これに対し、VE/VAの実施による投資効果、14.2倍とされている。

投資効果とは、その方法の実施のために要した金額で、それを実施しなかった場合に対し、得られるコスト節約の金額を割ったものである。

- ・デザイン・ツー・コストは全く新しいもの・システムを開発しようとするときに適用でき、
- ・VE/VAは、従来存在するものを、そのもの・システムの機能を中心に、見直しをするときに使う方法である。

デザイン・ツー・コストの考え方とその実施手順としては、
江崎通彦の次の文献がある。

- ・デザイン・ツー・コストの新しい考え方とその手順（WEB上、公開済み）
<http://dtn-wisdom.jp/J-explanations/new%20thinking%20of%20DTC.pdf>
- ・デザインツー・カスタマーズ・ニーズ（新プロジェクト管理の方法）（WEB上、公開済み）
日本語版 <http://dtn-wisdom.jp/J-pdf%20entrance.html>
英語版 <http://dtn-wisdom.jp/E-pdf%20entrance.html>

いずれもその見直しにより、コストが下がると同時に、性能、品質が向上する。

上記の法歩を更に進展させた方法には、WBSの定義と使い方がある。

上記書籍のPRシート <http://dtn-wisdom.jp/00001-PMSE.pdf>

更にそれらを、コンパクト化した本に下記がある。

知識から知恵を作り出す方法

日本語版 <http://dtn-wisdom.jp/00001-R3.pdf>

英語版 <http://dtn-wisdom.jp/00001-R3E1.pdf>

VE/VA手法についてはいくつか公開されているので、google等で探索すれば手に入れることができます。

例として、下記などがある。

<http://www1.harenet.ne.jp/~noriaki/link71-2.html>

江崎通彦メモ（2010-7）